

質疑・回答書

告示番号	第29号	件 名	平成26年度下水道築造工事(原田中央幹線・その2)
No	質疑事項	回 答	
83	シールド工明細に鏡切工が見当たりませんが、どのように取り扱われているのでしょうか。計上されていなければ設計変更の対象となるのでしょうか。	発進部は矢板欠損部であり、大口径高圧噴射攪拌工法の施工で土留めをしているため、鏡切工は計上していません。到達部は既設人孔のため、同じく計上していません。設計図19/31、28/31、29/31を参照して下さい。	
84	一次覆工終了後、二次覆工打設前に坑内整備工が必要となると考えられますが、どのように取り扱われているのでしょうか。	一次覆工工事から相当期間を経て、二次覆工を施工する場合に適用しているため、計上はしていません。必要となった場合は、協議事項とします。	

豊中市総務部契約検査室 TEL 06-6858-2075・2076
 FAX 06-6858-7225
 E-mail keiyaku-kouji@city.toyonaka.osaka.jp